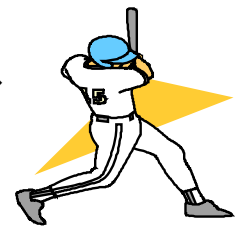


# 第47回全国軟式野球大会ニュース

## 11月2日(土) 長良川球場の試合結果



### ■第1試合

#### 西池(中川)の柵越え本塁打!

《一回戦》 開始 9時25分 終了 11時25分 試合時間 2時00分

府県	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	特	計	H	E
滋賀	中川製瓦	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	4	0
三重	徳川	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	2

審判	氏名	府県
球審	大沢	愛知
一塁	木綿	兵庫
二塁	遠矢	福岡
三塁	今	青森

【中】飯田ー中川 本塁打：西池(中)

【徳】奥出・柘植ー藤岡

【試合経過】

序盤中川製瓦は再三走者を出すがあと一歩が出ず、徳川は中川の飯田投手の好投の前に三振を重ねる展開。六回に中川製瓦の四番西池が柵越えの本塁打を打ち試合は決まったかと思われたが、その裏の徳川の攻撃で二死から九番加藤がチーム初安打で出塁すると一番中西がレフト越え二塁打で試合を振り出しに戻す。延長八回でも決着つかず特別ゲームを制した中川製瓦が初戦を突破した。中川製瓦の飯田投手は最速138kmの速球とキレの良い変化球で11奪三振の快投を見せた。

### ■第2試合

#### メトコスが轟の好走塁と集中打で接戦を制す

《一回戦》 開始 12時00分 終了 13時40分 試合時間 1時40分

府県	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H	E
福岡	(株)メトコス	0	0	0	2	0	0	0			2	4	0
高知	魁	0	1	0	0	0	0	0			1	3	1

審判	氏名	府県
球審	鈴木	岐阜
一塁	河内	埼玉
二塁	木綿	兵庫
三塁	岡部	岐阜

【メ】鈴木ー尾崎秀 本塁打：山本(魁)

【魁】喜田ー立田

【試合経過】

両チームとも好守備で締まった試合展開となった。二回裏に魁の四番山本が今大会二本目の柵越え本塁打で先制した。四回表のメトコスは四球の走者を一塁において、高木が右中間に二塁打を放つ。代走の轟が俊足をとばして長駆ホームイン。ベンチの采配が鮮やかに決まった。続く尾崎も中前打を打ち一気に逆転に成功する。魁は後半毎回走者を出すメトコスの堅い守備に阻まれて得点できず、最終回も二死三塁まで攻めたものの最後の打者がレフトポールに倒れた。

### ■第3試合

#### メトコス四番坂本が本塁打を含む全打点の活躍

《二回戦》 開始 14時15分 終了 16時00分 試合時間 1時45分

府県	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H	E
福岡	(株)メトコス	0	0	0	2	0	1	0			3	5	1
滋賀	中川製瓦	0	0	0	0	0	0	0			0	3	1

審判	氏名	府県
球審	今	青森
一塁	大沢	愛知
二塁	鈴木	岐阜
三塁	河内	埼玉

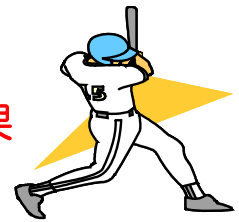
【メ】八尋将・大庭ー古賀・尾崎 本塁打：坂本(メ)

【中】生田・飯田ー中川

【試合経過】

メトコスの四番坂本が本塁打を含む全打点を叩き出す活躍で準決勝へコマを進めた。先発は中川製瓦の22歳生田とメトコスの45歳八尋による年齢差対決となった。中川製瓦は三回裏、安打と牽制ミスで先制の好機を作るがチャンスを確実に生かす事が出来ず試合の主導権を握れなかった。四回表メトコスは安打の走者において四番坂本がレフトポール脇に柵越え本塁打を打ち2点を先制する。六回にも二死三塁で坂本はセンター越えの二塁打を打ち2安打3打点と大活躍した。3回からリリーフしたメトコスの大庭はテンポの良い投球で中川製瓦の反撃を許さず継投での完封勝ち。昨年準優勝の中川製瓦を下し準決勝への出場を決めた。

新日本スポーツ連盟全国野球協議会  
**第47回全国軟式野球大会ニュース**  
**11月2日（土）福光市民球場の試合結果**



■第1試合

オティアスが打撃戦を制す

《一回戦》 開始 9時46分 終了 11時35分 試合時間 1時49分

府県	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H	E
神奈川	横浜BPs	1	3	0	1	0					5	5	1
岐阜	オティアス	2	3	1	1	X					7	6	2

審判	氏名	府県
球審	伊達	兵庫
一塁	高井	岐阜
二塁	八木	静岡
三塁	伊豆川	三重

【横】 臼田・小野一・中村・中井 本塁打：

【オ】 渡辺一・米田

【試合経過】

両チームで計12点の乱打戦となった。  
 効果的に追加点を重ねたオティアスが乱打戦を制して勝利を収めた。

■第2試合

森（瀬戸）の柵越え本塁打！

《一回戦》 開始 11時58分 終了 13時21分 試合時間 1時23分

府県	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H	E
岡山	瀬戸内クラブ	1	0	1	0	0	0	0			2	4	1
北海道	リスペクト	0	0	0	0	0	0	1			1	4	0

審判	氏名	府県
球審	佐々木	大阪
一塁	加藤	埼玉
二塁	高井	岐阜
三塁	八木	静岡

【瀬】 松井一・森 本塁打：森（瀬）

【リ】 奥野一・斉田

【試合経過】

初回に瀬戸内クラブの森が柵越え本塁打を打ち先制した。  
 両投手の好投で1点を争う接戦となったが三回に瀬戸内クラブが四球の走者をおいて三番桑田のレフト前ヒットで追加点を挙げ試合の主導権を握る。  
 リスペクトは最終回に五番鈴木の一塁打から得点するが反撃及ばず初戦突破はならなかった。

■第3試合

オティアスが初参加で準決勝へ駒を進める

《二回戦》 開始 13時45分 終了 15時13分 試合時間 1時28分

府県	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H	E
岡山	瀬戸内クラブ	0	1	0	0	0	0	0			1	3	2
岐阜	オティアス	3	0	0	0	1	0	X			4	6	1

審判	氏名	府県
球審	伊豆川	三重
一塁	佐々木	大阪
二塁	伊達	兵庫
三塁	加藤	埼玉

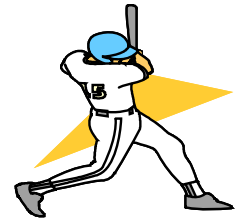
【瀬】 北田・松井一・森 本塁打：篠原（瀬）

【オ】 渡辺一・米田

【試合経過】

オティアスは初回エラーでの出塁を皮切りに四番加藤のレフト越え二塁打などで3点をもぎとる。  
 初参加で初戦突破の勢いのままに序盤で試合の主導権を握った。瀬戸内クラブは二回に四番篠原の柵越え本塁打で反撃するも、二回以降はオティアスの北田と継投の松井の前に散発の2安打に押さえ込まれる。  
 オティアスは五回に米田がレフト前ヒットから盗塁とエラーで貴重な追加点を挙げる。  
 初参加のオティアスが危なげない試合運びで準決勝へ駒を進めた。

新日本スポーツ連盟全国野球協議会  
**第47回全国軟式野球大会ニュース**  
**11月2日(土) ハツ草球場の試合結果**



■第1試合

息詰まる接戦をオールスターズが下す

《一回戦》 開始 9時45分 終了 11時10分 試合時間 1時25分

府県	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H	E
岐阜	ドリーム昇山	0	0	0	0	0	0	0			0	2	2
大阪	オールスターズ	0	0	0	0	1	0	X			1	3	2

審判	氏名	府県
球審	三上	千葉
一塁	七田	佐賀
二塁	碩	兵庫
三塁	田辺	三重

【ド】河田-阿木 本塁打:

【オ】森-山下

【試合経過】

河田、森両投手の好投で1点を争う展開になった。五回裏オールスターズの八番吉崎は判断良く二塁まで進む。二死三塁になった後内野ゴロエラーで待望の1点を先取した。この1点を最後まで守りきりオールスターズが勝利する。

■第2試合

烹っとめらめら初出場で初勝利

《一回戦》 開始 11時40分 終了 13時20分 試合時間 1時40分

府県	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H	E
高知	烹っとめらめら	1	0	1	0	0	0	1			3	3	2
福岡	和白病院マッシュ	0	0	0	0	0	2	0			2	6	0

審判	氏名	府県
球審	近田	愛知
一塁	田辺	三重
二塁	七田	佐賀
三塁	亀山	岐阜

【瀬】山本-足達 本塁打:

【リ】久保・本村-渡辺

【試合経過】

烹っとめらめらが初回に井津の三塁打で1点を先制する。3回にも四死球を足がかりに追加点を挙げゲームを優位に進める。和白病院マッシュは六回に安打を集中し同点に追いつくが、烹っとめらめらが7回にエラーから1点を追加しこれが決勝点となった。

■第3試合

テンポの良い試合で9回に決着する

《二回戦》 開始 13時45分 終了 15時13分 試合時間 1時28分

府県	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H	E
大阪	オールスターズ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4	1
高知	烹っとめらめら	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0

審判	氏名	府県
球審	碩	兵庫
一塁	亀山	岐阜
二塁	近田	愛知
三塁	三上	千葉

【瀬】川添-山下 本塁打:

【オ】山崎・山本-足達

【試合経過】

テンポの良い投手戦となり、両チームとも好守備で好投に応える。規定時間を充分に残した九回表、パスボールで二進した走者を置いて四番栄口の値千金のライト前ヒットで決勝点を挙げる。初出場の烹っとめらめらは準決勝進出はならなかった。

# 第47回全国軟式野球大会ニュース

11月2日(土) ファミリーパーク球場の試合結果



## ■第1試合

《一回戦》 開始 10時10分 終了 11時56分 試合時間 1時46分

府県	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H	E
愛知	アクワイヤー	0	0	0	0	0	1	0			1	4	2
大阪	戦国	0	0	0	0	2	0	X			2	3	0

審判	氏名	府県
球審	土井	福岡
一塁	石田	愛知
二塁	片山	兵庫
三塁	藤田	滋賀

【ア】前田－松本 本塁打：

【戦】吉田－松井

【試合経過】

## ■第2試合

《一回戦》 開始 12時23分 終了 13時55分 試合時間 1時32分

府県	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H	E
宮城	K-STYLE	0	0	0	0	0	0	0			0	1	0
埼玉	渡辺ツインズ	0	0	0	2	0	0	X			2	5	0

審判	氏名	府県
球審	北山	大阪
一塁	藤田	滋賀
二塁	大野	高知
三塁	石田	愛知

【K】渡辺－斎藤 本塁打：

【渡】木村－福山

【試合経過】

## ■第3試合

《二回戦》 開始 14時16分 終了 16時36分 試合時間 2時20分

府県	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	抽	計	H	E
大阪	戦国	1	0	0	1	0	0	1		3	3	7	0
埼玉	渡辺ツインズ	2	0	0	0	1	0	0		6	3	6	0

審判	氏名	府県
球審	片山	兵庫
一塁	土井	福岡
二塁	北山	大阪
三塁	大野	高知

【戦】森崎－松井 本塁打：

【渡】栗野・大野－福山

【試合経過】

新日本スポーツ連盟全国野球協議会  
**第47回全国軟式野球大会ニュース**  
**11月3日(日) 長良川球場の試合結果**



■第1試合

オティアス打線好調。決勝戦へ

《準決勝》

開始 9時00分 終了 10時38分 試合時間 1時38分

府県	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H	E
福岡	(株)メトコス	0	0	1	0	0					1	5	0
岐阜	オティアス	0	0	0	3	3					6	6	1

【メ】鈴木・大庭一尾崎秀 本塁打：加藤遼(オ)

【オ】柴田一米田

【試合経過】先制点はメトコス。八尋のライト越え二塁打に続き弓の安打で先制する。初出場2日目に進んだオティアスは昨日の勢いのまま四回に山田の逆転タイムリーを含む一挙3点を挙げると五回には四番加藤が右中間に柵越え本塁打を放ち勝負を決定づける。オティアス柴田投手の丁寧な投球と堅い守備で反撃を封じ初出場で決勝戦へコマを進めた。

審判	氏名	府県
球審	片山	兵庫
一塁	今	青森
二塁	北山	大阪
三塁	高井	岐阜

■第2試合

鮮やか林(オールスターズ)の決勝走塁!

《準決勝》

開始 11時00分 終了 13時00分 試合時間 2時00分

府県	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H	E
埼玉	渡辺ツインズ	1	1	0	0	0	0	0			2	5	0
大阪	オールスターズ	0	0	1	0	0	0	2x			3x	2	2

【渡】大村大福山 本塁打：

【オ】川添一八木

【試合経過】ツインズが初回、先頭打者福山のクリーンヒットから守備の乱れもあり先制点を挙げる。二回にもイレギュラーによる安打でツインズが追加点を挙げ試合を有利に進める。ツインズの大村投手の緩急の前に3回の1点のみに抑えられていたオールスターズは最終回に四球の走者をおいて林が右中間へ二塁打を放ち猛反撃。続く磯野の一塁強襲打を処理する間に二塁走者の林が一気にホームを陥れサヨナラ。2安打のオールスターズが5安打のツインズを下し決勝進出を果たした。

審判	氏名	府県
球審	七田	佐賀
一塁	土井	福岡
二塁	伊達	兵庫
三塁	河内	埼玉

■第3試合

オールスターズ(大阪)優勝!

《決勝》

開始 13時35分 終了 15時10分 試合時間 1時35分

府県	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H	E
岐阜	オティアス	0	0	0	0	0	0	0			0	2	1
大阪	オールスターズ	0	0	1	0	0	0	X			1	6	0

【オテ】渡辺一米田 本塁打：

【オー】川添一八木

【試合経過】決勝戦は岐阜城を間近に望み、岐阜と大阪の戦いになった。連投のオールスターズ川添が強打のオティアスがどう攻略するかが注目されたが先制はオールスターズ。三回裏走者二人をおいて五番江口がレフト越えの二塁打を放つ。川添投手は力強い直球と縦の変化球を武器にオティアスを2安打完封。最優秀賞に選出されました。

審判	氏名	府県
球審	大野	高知
一塁	伊豆川	三重
二塁	碩	兵庫
三塁	藤田	滋賀

■表彰

優勝チーム	オールスターズ	大阪
準優勝チーム	オティアス	岐阜
最優秀選手	川添大輔	オールスターズ
優秀選手	江口啓太	オールスターズ
優秀選手	渡辺大輝	オティアス
優秀審判員	土井哲治	福岡

【あとがき】15年振りとなった岐阜県大会ですが、長良川球場で4本の柵越え本塁打が飛び出し、前回は1本も無かった事を考えるとこの15年の道具の進化と打撃技術の向上を強く思いました。しかし勝敗を決するのはやはりエラーをしない、晴れの舞台で当たり前のプレーを当たり前に出来る事そのようなチームが残って行くのだとも思いました。二日目は雨予報でしたが幸い天気は持ち無事に大会は終わりました。優勝は大阪のオールスターズ、準優勝は地元岐阜のオティアスでした。前回大会の大阪に引き続き地の利を生かした近隣チームの勝利となりました。